

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論) (生命理工学先端研究特論)
(生命理工医療科学先端研究特論) (医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

学部学生の聴講も歓迎

記

1. 講 師

大阪大学大学院歯学研究科 再生歯科補綴学講座

峯 篤史 准教授

2. 演 題

接着と CAD/CAM :

接着歯学の研究から探究する『脱離』の本質

3. 日 時

令和 7 年 10 月 30 日(木) 17 時

4. 会 場

1 号館西 9 階 特別講堂

歯科用 CAD/CAM システムを用いて、レジンブロックから作製する CAD/CAM 冠が 2014 年に保険導入されてから 11 年が経過した。そして PEEK 冠，エンドクラウンが保険適応となった今，CAD/CAM テクノロジーを応用した補綴歯科治療は【さらなる変革の時期】を迎えている。

本講演ではまず，CAD/CAM 冠（＝レジン），ジルコニア，PEEK に対する接着に関するわれわれの研究成果を解説したい。その上で，そこから得られる教訓と現実，さらに臨床において考慮すべきポイントを東京科学大学の皆様と共有したい。

連絡先 中禮 宏 (chu.spmd@tmd.ac.jp)